

資料7 平成31年度に新たに導入した機器

実体顕微鏡システム

(概要)

実体顕微鏡システムは、物体の形状観察や金属材料の組織観察に使用する実体顕微鏡と、金属材料の組織観察を行うための試験用試料を作製するための自動研磨機を組み合わせたシステムです。

金属材料の組織観察や組織解析、メッキの膜厚測定などを実施する際に、依頼試験、設備使用で御活用ください。

[型式]

ライカマイクロシステムズ株式会社製 DMI8 型 (実体顕微鏡)

ITW ジャパン株式会社製 エコメット・30i 型 (高速鏡面仕上機)

[主な仕様]

○実体顕微鏡

- ・倒立式
- ・観察可能倍率：50、100、200、500、1000 倍
- ・対物レンズ：プランセミアポクロマートレンズ
- ・明視野と暗視野での観察が可能

○高速鏡面仕上機

- ・三連式 (自動研磨装置一台)
- ・研磨盤
サイズ：203mm
回転数：50～500rpm
- ・自動研磨装置
最大4 試料がセット可能
試料ホルダサイズ：1.25 インチ
試料ホルダ回転数：30～200rpm
各試料への荷重負荷：5～40N (個別)



実体顕微鏡



高速鏡面仕上機

(購入額)

7,205,000 円

(用途)

- ・金属材料の組織観察
- ・顕微鏡観察用試料の表面研磨

(設備使用料)

実体顕微鏡 1時間につき 440 円

高速鏡面仕上機 1時間につき 420 円

(試験手数料)

顕微鏡写真 1件 (写真1枚) につき 3,300 円

試験用試料の作成 1件につき 1,670 円から 5,100 円

※ 本機器は、(公財)JK Aの補助を受けて設置しています。



塩乾湿複合サイクル試験機

(概要)

塩乾湿複合サイクル試験機は、中性塩水噴霧・乾燥・湿潤を組み合わせ、繰り返し試験することで、金属製品等の耐食性を迅速に評価する装置です。

試験条件は任意で設定可能ですが、以下のサイクル試験等を実施できます。

- ・ JIS H 8502 「めっきの耐食性試験方法」 中性塩水噴霧サイクル試験
- ・ JIS K 5600-7-9 「塗料一般試験方法—第7部：塗膜の長期耐久性—第9節：サイクル腐食試験方法—塩水噴霧／乾燥／湿潤」 附属書 C(規定)サイクル A 及び附属書 1(規定)サイクル D
- ・ JIS K 5621 「一般さび止めペイント」 サイクル腐食性
- ・ JASO M 609 「自動車用材料腐食試験方法」

[型式]

スガ試験機株式会社 CYP-90L

[主な仕様]

塩水噴霧試験 : 30°C、35°C、50°C

乾燥試験 : 30°C、室温+10°C~70°C

湿潤試験 : 30°C・95%RH、室温+10°C~50°C・60%RH~95%RH

試験槽寸法 : 幅 900 mm、奥行き 600 mm、深さ 500 mm

試験片設置数 : 58 枚 (150 mm×70 mm×1 mm、15°又は20°)

試験片設置角度 : 15°、20°、30°

試料枠耐荷重 : 6 kg

床面耐荷重 : 50 kg



(購入額)

9,722,900 円

(用途)

- ・ 自動車部品のサイクル腐食試験
- ・ 機械部品の中性塩水噴霧サイクル試験

(設備使用料)

なし

(試験手数料)

複合サイクル試験 1件1時間につき 480 円

※ 本機器は、(公財)JKAの補助を受けて設置しています。

